

見えにくい現場の苦労を、ダイレクトに人事院へ届ける!!

～分会が現場のリアルを伝えた人事院交渉～

九州地本は、10月16日に人事院九州事務局交渉を実施。今回の交渉も各ブロックから代表者4名（北部ブロック・井上（大分分会）、熊本ブロック・今村（熊本分会）、宮崎ブロック・河本（都城分会）、鹿児島ブロック・山口（大隅分会））が参加し、地本執行部を含め総勢11名で交渉しました。



分会・地本で臨む交渉

交渉の冒頭、加藤地本委員長は「私たちの職場環境は、奥地や山間部などの自然条件の厳しい現場であり、他の行政官庁にはない、極めて特殊な環境となっている。そのうえ、職員が減少を続ける中で、新たな業務や市町村への支援業務、自然災害時の対応など、業務も多岐に渡っており、複雑・困難の度合いが一般会計移行時と比較して増してきた。本日は私たちの職場実態を踏まえた要求を行うので、改善に向け前向きな回答を求め」と挨拶し、人事院九州事務局総務課長に要求書を手交しました。



処遇改善に向け要求書手交

要求書の内容は、①若手職員が増えている状況を踏まえ、2級役付けポスト及び3級から6級の定数を維持すること、②一時的な欠員を理由に森林官の級の切り下げを行わないこと、③行（二）について号級較差額等の改善を図ること、④特殊勤務手当の改善及び運転手当を創設すること、⑤再任用職員について、生活水準が確保できる給与制度にすること、⑥定年延長者を含む高年齢職員への給与水準の改善を行うこと、⑦いわゆるピーク時特例に係わる不利益について、内閣人事局へ働きかけること等を求めました。

また、各ブロック代表者から、⑧令和8年度新設される通勤のための外部駐車場利用について、基本的な考えを確認したい（北部ブロック）、⑨松くい虫被害木調査をはじめとする、過酷な環境下で実施している立木調査及び現地踏査等について、山上

冒頭、宮崎県林活議連会長濱砂氏が挨拶し、「九州各地での経験や知恵を結集し、森林の持続的な循環と、地域の未来を切り開く大会にしたい」と述べた。

令和7年10月30日、宮崎市のメイキット県民文化センターで「令和7年度、森林・林業・林産業活性化九州大会」が開催され、九州各県より森林・林業活性化促進議員や林業関係者が集い、九州地区における森林資源の循環利用や、地域経済の発展に向けた取組が確認されました。

森林の循環が地域の未来を守る ～林活議連九州大会が宮崎市で開催～

続いて、日南市の林田樹苗農園・林田代表取締役から「苗木増産に向けた仕組みづくりと苗木の社会的価値創出への挑戦」と題した事例発表が行われました。林田氏は担い手不足や人件費に関する課題に引き合い、J



九州全体で林業を支える

最後に、次回開催県である福岡県議会から「九州の林業を発展させるため、力を合わせて取り組む」と力強い閉会の言葉があり、本大会は閉幕しました。

養などの支出を抱えているのが実態である。高齢者雇用に関わる重要な社会課題といった側面から、民間準拠にこだわらず、必要な措置を検討するべき」と要求しました。



空席ポストの解消を（山口）

換を行う」ことを確認し、交渉を終了しました。

匠の腕シネマ

「白岩山から九州中央山地」
(撮影者 甲斐菜々子：宮崎北部分会)

「匠の一言」
標高1620mからの絶景です。

40周年

林活議連九州大会に参加して、林業の価値を再確認した。林業は木を伐ることだけでなく、地域の暮らしを支えるところにも価値がある。一方で、私たちの仕事の成果は短期間で図れない。ときに50年、次の世代に届くスパンで結果を知る。それまでの間は、地形や気候、生態系の変化を読み取りながら、確実な施策をもって森と向き合うだけ。この「守りの品質」は、労働運動と相性が良い。森林施業と同じように、知見を蓄積し、歴史から学べる人がいることは、組織に持続性を与えてくれる。効率や短期成果が求められる時代、森は急いで応えてくれない。労組も同じか。社会全体が急速な変化の中にある今、林業も労働運動も、持続性があれば、成果は後からついてくる。短期で評価される今、我々が見失っていないのは「その歩みを止めない」ことだ。
(松本)

林野労組九州

発行所
熊本市西区京町本丁2の7
全国林野関連労働組合
九州地方本部
(電) 096-354-1150

発行者 松本慎剛
発行日 10日
定価 1部20円
組合員の購読料は
組合費の中に含む

緑を育て、守る、 林野労組

- ### 当面の行動
- 11月11日 全山労協福岡大会
 - 11月18日 要請行動（林活九州連絡会・長崎県）
 - 11月21日～23日 新採労働学校（東京都）
 - 12月5日 民林労組単産交流学習会（熊本市）
 - 12月6日 青年女性常任委員会
 - 12月12日 役員推薦委員会
 - 12月19日 全国代表者会議
- また、利用する場合、月極が基本となるが、時間利用も検討していく。「本年の人事院勧告で在級期間表を廃止しているが、基本的な考えは個別官庁で対応することになる」と一定の回答を受けました。
- また、地本から追加で「定年延長者の給与7割が苦しい理由は、遊ぶお金がないといった属人的な理由ではなく、介護や扶



絶品のビールで乾杯

分散会では、参加者たちの普段なかなか口に出せない悩みや、職場での課題を率直に語り合い、「人員不足の中でどうモチベーションを保つか」「若手が育つ環境をどう作るか」といった真剣な議論が交わされ、互いの現状に共感の声が広がりました。

当日は、酒屋からレンタルしたビールサーバーと樽を使用し、本格的な雰囲気の中で、多彩な料理が並びました。司会は一川委員が務め、冒頭、部原青年女性委員長が開会の挨拶を、小園執行委員長が乾杯の挨拶を行い、会は和やかにスタートしました。組合員のほか、管理者を含む19名が参加し、組織のあり方や職場での悩み、さらには趣味の話題まで、ざっくばらんな意見交換が行われ、普段見られない

10月4日（土）、大分県日田市にて、大分西部分会青年女性委員会の主催により、北部ブロック交流集会在開催されました。長崎分会、佐賀分会、福岡分会、大分分会、大分西部分会の各青年女性委員会から、計12名が集い、分散会、ボウリング大会、懇親会と盛りだくさんの一日を企画しました。

大分西部分会・青女主催
【北部ブロック交流会】

（熊本分会 部原通信員）

職員的一面を知ることができるなど、職員同士の親睦を深める良い機会となりました。日中の残暑が厳しい中、暑気払いとして絶好のタイミングとなった今回のイベント。当分会の青年女性委員会では、今後こうした企画を通じて、分会の活性化を図っていきたいと思います。



分散会で課題を共有

「この悩みは自分だけじゃない」という安心感と、「この悩みはこうしてみよう」といった、前向きな気持ちを実感できた分散会となりました。

その後、日田市内のアストロホールでボウリング大会を開催。ストライクに歓声が上がる一方で、ガーター続出のチームに笑いが絶えず、会場は終始にぎやかな雰囲気包まれ、ゲームの得点以上に、互いの距離がぐっと縮まる瞬間が随所に見受けられました。

夕方からは懇親会で、地元の料理とお酒を囲みながら、「最初は緊張していたけど、気づけば本音で語り合っていた」「また明日から頑張るしかない！」

「やってみよう!!」若手が仕掛ける新風

各地で青年女性委員会が活躍

との声も聞かれ、若手同士のつながりの強さを実感する場となりました。

今回のブロック交流会を通じて、悩みを抱えながらも前向きに歩む仲間たちの姿が印象的でした。分会の垣根を越えて新たな絆をつくることができ、今後の青女活動への意欲が高まる、有意義な一日となりました。

（大分西部分会 木下通信員）



楽しみも取り入れながら

あの人 どんない

「海自カレーは絶品です」

白濱 光さん（屋久島分会）



鍛えた心と身体で屋久島を駆ける

今回、屋久島分会から白濱光君を紹介します！白濱さんは本年度新規採用で、熊本県天草郡龍ヶ岳町（現上天草市）出身（今年30歳）です。青森県庁職員3年、海上自衛隊員3年と幅広く職場経験を積まれたそうです。持ち前の明るさとトーク力で、今ではすっかり署内にと

けこみ、業務グループの販売担当として土埋木の販売など、資源活用務として内務から対外的な業務までこなされています。また、海上自衛隊で鍛えた体で登山パトロールやソフトボールなどアクティブに活動しています。地域行事であるドラゴンボート大会では、瞬間的なスピードと迫力あるパワーでオールを漕いでいました。

屋久島での暮らしを満喫されており、屋久島に来られた際は是非、白濱さんの料理を食べてみてください！次は転職することなく、生涯、国有林マンとして働いてもらいたいと思っています。（屋久島分会 木崎通信員）

人吉駅構内で奉仕作業

人吉球磨地協・労福協主催
「列島クリーンキャンペーン」

令和7年9月7日（日）、人吉駅において、郡市の労働組合や事業所などから約130人が集まり、人吉駅構内の除草作業に汗を流しました。

本取組は2021年から毎年開催され、4年目となった「列島クリーンキャンペーン」。冒頭、人吉駅長から「2026年度には新たな人吉駅を再築することで、多くの人を呼びつる復興していきたい」と挨拶があ

令和7年9月7日（日）、人吉駅において、郡市の労働組合や事業所などから約130人が集まり、人吉駅構内の除草作業に汗を流しました。

全組合員ヘルメット着用で線路内に入り、草を引き抜いたり、周辺では除草剤等を散布するなど、皆汗だくになりながら約1時間の作業に精を出しました。（熊本南部分会 後藤通信員）



しゃがめない為、中腰で作業



人吉駅の未来のために仲間と汗を